

# ブロッコリー購入数 4割超が「週1個以上」

ふかパニ

家計簿サービス「くふう Zaim」、チラシ・買い物情報サービス「トクバ」を運営するくふうカンパニー（あきた穂田善輝社長、東京都港区）は、ユーザー7987人を対象に、ブロッコリーに関する調査を行った。調査期間は2026年3月13日～16日。

ブロッコリーの購入個数は、「月1～3個」の割合が最も高く33・8%。週1個以上（「週1個」「週2個」「週3個」「週4個以上」の合計）購入する人は4割を超えた。また、過半数が「摂取量を増やしたい」と回答した。

購入理由（複数回答）は、「栄養価が高い」（69・8%）、「自分や家族が好き」（46・6%）、「食事に取入れやすい」（35・7%）などの割合が高くなっている。購入時に重視すること（複数回答）は、大半が「味の締め具合や色などの「鮮度」（85・8%）や「価格」（82・2%）と回答。以下「房の大きさ」

（40・5%）、「産地」（26・7%）などが続いた。ブロッコリーが「高い」と感じ始める価格帯は、「200円～249円」（45・0%）、「1500円～1999円」（38・8%）がボリュームゾーンとなり、1000円後半から2000円を超える価格で「高い」と感じるようになった。

逆に「安い」と感じ始めるのは、「1000円～1499円」（55・0%）が最も多く、1000円台前半になると「安い」と認識されるようになった。また、「この価格までなら購入する」（この価格より高ければ買わない）という「限界価格」を調べたところ、回答者平均は税抜き186円となった。

ブロッコリーの調理方法「よく煮る」（ときどき煮る）の合計は、「茹でる」の割合が突出して高く86・3%、以下「電子レンジ調理」（64・6%）、「炒める」（62・0%）、「蒸す」（43・7%）と続く。茎の部分まで食べている人は、「いつも食べる」（68・4%）、「ときどき食べる」（20・7%）を合わせて9割近くにのぼった。

なお、ブロッコリーが指定野菜に加わることを知っている人は、46・7%だった。